

周縁的社会集団と近代—日本と欧米におけるアジア史研究の架橋

2019 年度 総括シンポジウム

「アジア諸地域の社会・近代化・史料」

本シンポジウムは、大阪市立大学とイエール大学・シンガポール国立大学(NUS)・上海大学の連携による国際共同研究プログラム「周縁的社会集団と近代」の総括シンポジウムとして開催されるものです。アメリカ、シンガポール、中国などの海外連携研究者をお招きし、日本とアジア諸地域における近世～近代移行期の周縁的社会集団の比較史をめぐり議論します。

議論にあたっては、各地域の社会集団の存在形態と、それに迫る素材である歴史資料の特徴を切り口とします。

具体的には、日本近世の非人集団とその史料のあり方を素材として、比較史的に議論するセッションに加え、インドやオスマン帝国など、アジア諸地域の社会史を研究する海外連携研究者の研究をめぐり複数のセッションで構成します。

なお、英語・日本語による共通テキストを配布し、議論も英語・日本語のバイリンガルで、じっくり行われます。関心をお持ちの皆さんの参加を歓迎します。

日 時 2019年5月25日(土)、26日(日)、27日(月)

会 場 大阪市立大学 学術情報総合センター1階 文化交流室

■DAY1 5月25日(土) 9:30～17:00

Welcome Session 9:30～9:50

挨拶 櫻木弘之副学長、小林直樹文学研究科長、塚田孝教授

Session I 日本近世とアジア諸地域における社会集団と史料(9:50～12:20)

塚田孝氏の近世日本の非人集団と史料に関する共通テキストを素材として、アジア諸地域を研究する海外ゲストにコメントしていただき、議論を行います。海外ゲストのコメントでは、各自のアジア地域の研究をふまえて、社会集団とその史料、アプローチなどについて発言を求めます。議論を通じて、日本とインド、中国、オスマンの社会集団と史料のあり方を相互に比較します。

・問題提起 塚田孝

・司会 佐賀朝(大阪市大・日本史)、ジョン・ポーター(東京外大・日本史)

・コメント 井上徹(大阪市大・中国史)、ギャネシュ・クダイシャ(NUS・インド史)

アラン・ミハイル(イエール大・オスマン帝国史)、アヌ・ジャラス(NUS・インド史)

ロヒート・デー(イエール大・現代インド史)

(Lunch)

Session II インドの経済変容と社会集団(13:30～15:00)

ギャネシュ・クダイシャ氏の研究(インド社会経済史)をめぐりセッション

・問題提起 ギャネシュ・クダイシャ

・司会 野村親義(大阪市大・インド社会経済史)、ティモシー・エイモス(NUS・日本史)

・コメント 日本・中国・オスマン史などからコメントを用意する予定です

Session III インドにおける周縁的社会集団(15:15～16:45)

アヌ・ジャラス氏の研究(インドの文化人類学的研究)をめぐりセッション

・問題提起 アヌ・ジャラス

・司会 小谷汪之氏(特別ゲスト・インド史)、マーレン・エーラス(ノースカロライナ大学・日本史)

・コメント 塚田孝、守田まどか(大阪市大 UCRC 研究員・オスマン帝国史)

■DAY2 5月26日(日) 9:00～17:00

SessionⅣ 現代インドにおける「法と社会」(9:00～10:30)

ロヒート・デー氏の著書 *A People's Constitution: The Everyday Life of Law in the Indian Republic* (2018) を共通テキストとして、周縁的な社会層と法との関係、法史料を通じて周縁的社会層の声を聞く方法などについて、インドと諸地域の比較を軸に議論します。

- ・問題提起 ロヒート・デー
- ・司会 野村親義、ダニエル・ボツマン (イエール大・日本史)
- ・コメント 安竹貴彦 (大阪市大・日本法制史)、守田まどか (オスマン帝国史)

SessionⅤ オスマン帝国の近代化と「動物」(10:45～12:15)

アラン・ミハイル氏の論文「狡兎良狗の帝国—オスマン期カイロの街路における暴力と愛情—」(『都市文化研究』21号、2019)を共通テキストとして、近代化過程の社会変容および自然・動物と人間の相互関係の変容について、アジアの諸事例を提示して議論します。

- ・問題提起 アラン・ミハイル
- ・司会 草生久嗣(大阪市大・ビザンツ史)、岩田和馬(東京外大・オスマン史)
- ・コメント アヌ・ジャラス、島崎未央 (大阪市大・日本史)

(Lunch)

SessionⅥ インドの周縁的社会集団と史料(13:30～14:45)

18世紀のインドにおいてカースト社会から周縁化された人々とその史料に関する小谷汪之氏の研究報告をめぐって議論を行うセッション

- ・報告 小谷汪之
- ・司会 脇村孝平(大阪経済法科大学・インド史)、ティモシー・エイモス(NUS・日本史)
- ・コメント マーレン・エーラス、井上徹、アラン・ミハイル

SessionⅦ 総括セッション(15:00～17:00)

SessionⅠ～Ⅵをふまえて、総括的な議論を行うセッション。SessionⅠを基軸としながら、日本とアジアの社会集団と近代化の相互比較に関する論点と課題について、2人の研究者に総括的なコメントをしていただき、議論します。

- ・総括コメント1 ダニエル・ボツマン
- ・総括コメント2 ティモシー・エイモス
- ・司会 佐賀朝、ジョン・ポーター、草生久嗣

■DAY3 5月27日(月) オプション企画(10:00～17:00 ごろ)

近世～近代大阪の社会集団の歴史に関わるフィールド・トリップを行います。行先は、中之島から道修町や大阪城の周辺地域のほか、道頓堀周辺から釜ヶ崎・飛田にかけての都市周縁地域を予定しています。終了後は大阪市中心部で夕食の予定です(海外ゲストを含めた本プログラムメンバー限定のツアー)。

連絡・問い合わせ先

「周縁的社会集団と近代」事務局

佐賀 朝(文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp